

平成25年度第2回

富山市障害者自立支援協議会
資 料

日時：平成26年2月14日

午後2時から

場所：東館8階 802会議室

(1)各専門ワーキングの活動について

	回	月日	活動内容	備考
就 労 支 援	第1回	5月8日	<ul style="list-style-type: none"> ○昨年度の活動報告と今年度の課題について ・就労継続支援B型事業所の新規利用の経過措置への体制作り ・市内就労移行支援事業所のネットワークについて 	新規委員の引き継ぎ
	第2回	6月12日	<ul style="list-style-type: none"> ○富山圏域就労支援ネットワーク会議でのグループ討論に関連した話題について ・就労継続支援A型事業所(民間)の動向と課題 ・就労継続支援B型事業所の新規利用にともなう経過措置について ○就労継続支援B型事業所新規利用にともなう対応について ・5/24 事案2ケースの検討会実施状況について 	6/21 第1回富山圏域就労支援ネットワーク会議
	第3回	7月17日	<ul style="list-style-type: none"> ○富山圏域就労支援ネットワーク会議でのグループ討論の総評 ○富山県技術専門学院からの報告 ・質疑応答、意見交換 	
	第4回	8月21日	<ul style="list-style-type: none"> ○就労継続支援B型事業所新規利用にともなう対応について ・8/9 事案1ケースの検討会実施状況について ○特別支援学校卒業者等に係る就労継続B型の利用の経過措置の取り扱いについて ・今後の流れ、検討会の体制 	
	第5回	9月11日	<ul style="list-style-type: none"> ○特別支援学校卒業者等に係る就労継続支援B型の利用の経過措置の取り扱いについて ・特別支援学校との意見聴取会に向けて ・共通評価表(記載解説)の検討 	
	第6回	10月16日	<ul style="list-style-type: none"> ○10/2 特別支援学校との意見聴取会での課題整理について ・検討会の開始時期、頻度、検討方法について ・経過措置の取扱イメージ(解説図)の検討 	10/2 特別支援学校との意見聴取会

第7回	11月20日	<ul style="list-style-type: none"> ○就労継続支援B型事業所の新規利用にともなう経過措置について ・特別支援学校高等部卒業者等の検討会実施に向けての体制確認 ○就労継続支援A型事業所(民間)の動向 ・OA関連の事業所の新設 	11/20 検討会実施(案件1ケース)	
第8回	12月18日	<ul style="list-style-type: none"> ○就労継続支援B型事業所の新規利用にともなう経過措置について ・県内の状況、アセスメント体制の実態 ・平成27年度(アセスメント体制整備完了)までの取り組み ○就労継続支援A型事業所(民間)の動向 ・ハローワークでの対応について 	12/4 検討会実施(案件2ケース)	
第9回	1月15日	<ul style="list-style-type: none"> ○第2回富山圏域就労支援ネットワーク会議の概要(平成26年2月4日実施予定) ・報告、講義内容について ○情報提供(ゆめさぼーとらいちょう) ・富山県精神障害者支援事業所等連絡会の活動 	1/29 検討会実施(案件6ケース)	
地域生活支援	第1回	4月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度のワーキングの方向性について ・富山市グループホーム等連絡協議会について 	
	第2回	5月31日	<ul style="list-style-type: none"> ・居宅介護事業の現状に関して(課題抽出等) ・富山市グループホーム等連絡協議会について 	
	第3回	6月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・居宅介護事業者との意見交換に向けた打合せ ・富山市グループホーム等連絡協議会について 	
	第4回	8月8日	<ul style="list-style-type: none"> ・居宅介護事業者との意見交換 {北陸メディカルサービス(株)八尾営業所} 	
	第5回	9月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・居宅介護事業者との意見交換のまとめ 	
	第6回	10月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・居宅介護事業実態調査(仮称)に関して ・富山市グループホーム等連絡協議会について 	
	第7回	11月28日	<ul style="list-style-type: none"> 「居宅介護支援事業実態調査」の調査項目の検討 富山市グループホーム等連絡協議会活動報告 	
	第8回	1月16日	<ul style="list-style-type: none"> 「居宅介護支援事業実態調査」の集計打ち合わせ 富山市グループホーム等連絡協議会活動報告 	

子ども発達支援	第1回	5月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介 ・富山市地域自立支援協議会の概要とこれまでの取り組み ・基幹相談支援室について ・今年度の課題について ・困難ケースの抽出について 	
	第2回	6月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度のワーキング報告と今年度の内容検討 	
	第3回	7月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・ケース検討『家族力の弱い自閉症児のケース』 発表者:富山県発達障害者支援センター あおぞら ・Q&A 作り(グループワーク) 	
	第4回	8月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・ケース検討『兄弟で障害があるが、子育て能力のない保護者について』 発表者:富山市恵光学園 ・Q&A 作り(グループワーク) 	
	第5回	9月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・ケース検討『こだわりの強い児の進路を見据えた関わりについて』 発表者:富山県立富山総合支援学校 ・Q&A 作り(グループワーク) 	
	第6回	10月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・富山県立富山高等支援学校・基幹相談支援室 見学 	
	第7回	11月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・ケース検討『重い障害を持つ子への支援と保護者支援』 発表者:こども福祉課 ・Q&A について検討 	
	第8回	12月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・ケース検討『発達障害が疑われる母子の支援について』 発表者:富山市保健所健康課 ・こども発達支援ハンドブック校正について ・Q&A 作り(グループワーク) 	
	第9回	1月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・ケース検討『保護者対応が難しいケースについて』 発表者:富山県立高志支援学校 ・Q&A 作り(グループワーク) 	

※ 相談支援ワーキング(定例会)4月26日、6月26日、8月28日、10月9日、12月25日、2月4日に実施(各専門ワーキングの活動情報報告、障害者虐待の対応に関する説明、「計画相談支援の促進に関するセミナー」出席報告等)。

就労支援ワーキング報告

□就労継続支援 B 型事業所の利用に係る経過措置について（第 7 回、第 8 回）

○県内の経過措置の状況についての現状報告

- ・協議会の主体：市単位(射水市)、自立支援協議会(富山市,滑川・中新川)、障害保健福祉圏域(砺波地域)

- ・アセスメント体制は独自の動きが見られる。

（砺波地域では、就労移行支援事業所のサビ管が同一法人内の B 型事業所で 2 週間の就業体験中に実施しており、そのうち 1, 2 日は就労移行支援事業所に通所している。）

○富山市としてのアセスメント体制の進め方について

〈平成 26 年度〉

平成 25 年度のアセスメント体制を継続しつつ、国のモデル事業の結果報告によるマニュアル改訂版の導入については随時、検討調整を図る。

〈平成 27 年度〉までのアセスメント体制の整備、課題

- ・富山市には複数の就労移行支援事業所がある。振り分けはどのように進めていくのか。
- ・就業・生活支援センターの役割
- ・他の市町村からの支援連携 等

○平成 25 年度の実績（H26, 2, 1 現在）

- ・一般案件（5/24…2 件, 8/9…1 件, 計 3 件）
- ・特別支援学校高等部卒業生案件（11/20…1 件, 12/4…2 件, 1/29…6 件, 計 9 件）

□民間の就労継続支援 A 型事業所の動向（第 7 回、第 8 回）

- ・県外系列の事業所の新設の動き（ホームページでの PR 等）
- ・ハローワーク窓口での状況、全国的な動き、一般就労への移行実績

□課題の掘り起し（第 9 回）

- ・富山圏域就労支援ネットワーク会議
- ・各団体からの情報収集
- ・課題整理

地域生活支援ワーキング報告

1. 実施状況〔平成 25 年度〕

	月 日	主 な 協 議 内 容
第 7 回	11 月 28 日	○居宅介護事業実態調査に関して 他
第 8 回	1 月 16 日	○居宅介護事業実態調査に関して 他
第 9 回	2 月 4 日	○居宅介護事業実態調査に関して 他

2. 「居宅介護事業に関する実態調査」について

(1) 調査目的

居宅介護事業所の基本情報、利用者状況及び支援状況について幅広く実態を把握し、地域において深刻化しているヘルパー不足などの課題も明らかにする。調査結果は、利用者が安心して居宅介護サービスを受けられるよう、また今後のサービス内容充実に向けた方策の検討に活用するとともに、今後の事業者ネットワークや相談支援（計画相談）との連携に役立てる。

(2) 調査概要

- a. 調 査 月 平成 25 年 12 月
- b. 対象事業所 34 事業所
- c. 回答事業所 24 事業所 (2/5 現在) 回答率：約 70%

調査結果は分析中。相談支援事業所との連携、支援上の課題など記述回答を得ている内容を下記に一部抜粋。

- 定期的にサービス担当者会議があったらよい。
- 本人の了解がないと相談支援事業所に繋げることが難しいケースでも一緒に考えてほしい。
- お互いに情報を発信し共有することで、統一した支援ができるように支援関係者間の関係作りが重要。
- 相談支援が確立しておらず、サービス事業者が多くのことに対処している現状がある。
- 障害特性に対応できる人材が不足している。利用者ごとの障害特性の理解が難しい。
- ヘルパーの高齢化は深刻な問題。等

3. 「グループホーム等における利用者の高齢化に関する実態調査」について

(1) 調査目的

グループホーム等の利用者について、特に高齢利用者に特有の実態（経済状況、日常的支援や介護保険サービス移行時支援など）を明らかにする。調査結果は、利用者が安心して年齢を重ねられる地域生活の実現に向けて、今後必要となる環境整備や関係機関連携などの検討に活用する。

(2) 調査概要

- a. 調査実施主体 富山市グループホーム等連絡協議会（G連協）
- b. 調 査 月 平成 26 年 1 月
- c. 対象事業所 57 事業所（GH/CH の建物単体）
- d. 回答事業所 35 事業所（1/30 現在） 回答率：約 61%

調査結果は分析中。

以上

【地域生活支援ワーキング メンバー】

- 相談支援事業者：宮部、渡辺（和敬会生活支援センター）、平井・浅木（自立生活支援センター富山）
柴田（基幹相談支援室）、松本・櫻井（セーナー苑）、山本（あすなるセンター）
- 富 山 市：土地（障害福祉課）、大田（保健所）

平成 25 年度 基幹相談支援室 事業実施状況

1 障害者相談支援事業（別紙 1 参照）

現在行っている個別相談、関係機関からの相談は日々、継続実施

2 利用計画指導事業（別紙 2 参照）

（1）事例検討会（定期／2～3ヶ月に1回）

市内の相談支援事業所から対応に困っている事例や助言を要する事例について提示してもらい、今後の支援の方法や計画の立て方等についての検討会を実施する。

（2）事例検討会（随時）

市内の相談支援事業所から困難事例で事例検討を行わなければならないものについては、随時、富山市より委託を受けている相談支援事業所と連携し、事例検討会を実施する。

3 事業者研修事業（年 3 回程度）（別紙 2 参照）

市内の相談支援事業所を対象に支援体制の充実を図るための研修を実施。

例）専門機関（県難病支援センター等）に難病に関する講義を依頼し、意見交換会を行いながら、相談支援専門員のスキルアップと専門機関とのネットワークづくりを行う。

4 権利擁護事業（随時）

障害者等の権利擁護を図るため、成年後見人制度や地域福祉権利擁護事業の利用が必要なケースに対し、その利用について必要な相談や支援を行う。

5 富山市障害者自立支援協議会との連携

富山市より委託を受けている相談支援事業者と連携し、各専門ワーキングや相談支援ワーキングにて地域の障害福祉に関する調査等を行い、課題を富山市障害者自立支援協議会へ報告する。

1 障害者相談支援事業

・相談内容の傾向について

(H25年4月～12月31日現在)

項目	現 状
困難ケース	<ul style="list-style-type: none"> ・難病の障害者では、病気が進行性である場合には病状が不安定のため、家族関係等を含めて継続的な支援が必要になっている。 ・知的障害者では家族への支援が必要になる場合は保健福祉センター保健師による訪問等各関係機関の協力を得て支援を行っている。 ・精神障害者では支援が困難であるケースについて相談支援事業所等からの相談があり、検討会を開催し各関係機関との情報共有を行った。 ・親が高齢化していることから成年後見制度や権利擁護に関する相談があり、障害福祉サービスの周知や利用手続きの補助等の支援を行っている。また、介護保険との連携が必要になっている。 ・福祉サービスを何らかの理由で継続できなかったため長期間潜在化していたケースの相談があった。
虐待を疑うケース	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待に関しては介護疲れから来ている場合やネグレクトであるかの判断に迷うことがあり、障害福祉課へ報告すべき状況の捉え方やタイミングが難しい。
計画相談	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業者の選定等に関する相談があり、計画相談を依頼し事業者へつないでいる。 <p>(計画相談依頼の実件数：身体9件、知的3件、精神16件、発達障害1件、重複障害4件、計33件)</p>

平成25年度基幹相談支援室事業実施状況

(平成26年2月現在)

	障害者相談支援事業	利用計画指導事業	事業者研修事業	
平成25年	4月	随時		
	5月	随時		
	6月	随時	相談支援事業者研修会 ・日時H25.6.6 3:00~4:30 ・場所 プラザ3階多機能室 ・対象者：相談支援事業者 24名参加 ・内容①基幹相談支援室紹介 ②各相談支援事業所紹介	
	7月	随時	相談支援事業者研修会 ・日時H25.7.5 3:00~4:30 ・場所 プラザ2階介護実習室 ・対象者：相談支援事業者 25名参加 ・講義「計画相談の実際」	難病関係研修 ・日時H25.7.16 4:00~5:00 ・場所 プラザ多目的ホール ・対象者：相談支援事業者 居宅介護支援事業者 生活介護事業者 41名参加 ・講義 難病患者のニーズと支援
	8月	随時		
	9月	随時	連絡会・事例検討会 ・日時H25.9.30 3:00~4:30 ・場所 富山市役所会議室 ・対象者：保健所、障害福祉課 委託相談支援事業者 基幹相談支援室 8名参加 ・内容 精神障害者の支援	
	10月	随時	連絡会・事例検討会 ・日時H25.10.4 3:00~4:30 ・場所 プラザ2階介護実習室 ・対象者：相談支援事業者 25名参加 ・内容 グループワーク	
	11月	随時	連絡会・事例検討会 ・日時H25.11.18 10:00~11:30 ・場所 フィールドラベンダー ・対象者：保健所、障害福祉課 委託相談支援事業者 基幹相談支援室 8名参加 ・内容 精神障害者の支援	
	12月	随時		地域包括関係研修 ・日時H25.12.17 3:00~4:30 ・場所 プラザ多目的ホール ・対象者：相談支援事業者 共同生活援助事業所 共同生活介護事業所 34名参加 ・講義 介護保険の概要と移行時の支援ポイント
	平成26年	1月	随時	
2月		随時	連絡会・事例検討会	
3月		随時		
	個別ケースは随時	隔月に実施 急を要する事例検討会は随時開催	○ 年3回開催	

平成 26 年度 基幹相談支援室 事業計画（案）

1 障害者相談支援事業

現在行っている個別相談、関係機関からの相談は日々、継続実施

2 利用計画指導事業

(1) 事例検討会（定期／2～3ヶ月に1回）

市内の相談支援事業所から対応に困っている事例や助言を要する事例について提示してもらい、今後の支援の方法や計画の立て方等についての検討会を実施する。

(2) 事例検討会（随時）

市内の相談支援事業所から困難事例で事例検討を行わなければならないものについては、随時、富山市より委託を受けている相談支援事業所と連携し、事例検討会を実施する。

（新規）

(3) 連絡会

市内の相談支援事業所を対象とした情報交換会や復命研修等を実施し、情報の共有をしながら、相談支援事業所のネットワークづくりと相談支援専門員のスキルアップを目指す。

（運営方法）H25 年度同様、定期的な情報交換会を行う。また、中央等で研修を受けてきた相談支援専門員（まずは委託相談支援事業所の相談支援専門員）からの復命研修を行う。

（見直し）

3 事業者研修事業（年3回程度）

富山市から委託を受けている相談支援事業者と連携し、市内の障害福祉サービス事業者を対象に支援体制の充実を図るための研修を実施。

（運営方法）各専門ワーキングが主体となり、研修の企画・立案をし、基幹相談支援室と連携して専門講師等を招いた講義や演習、意見交換会等を行いながら、市内の事業者のスキルアップとネットワークづくりを行う。

4 権利擁護事業（随時）

障害者等の権利擁護を図るため、成年後見人制度や地域福祉権利擁護事業の利用が必要なケースに対し、その利用について必要な相談や支援を行う。

5 富山市障害者自立支援協議会との連携

富山市より委託を受けている相談支援事業者と連携し、各専門ワーキングや相談支援ワーキングにて地域の障害福祉に関する調査等を行い、課題を富山市障害者自立支援協議会へ報告する。

権利擁護部会の設置について

1. 設置日

平成26年1月

2. 位置付け

別紙「富山市障害者自立支援協議会組織図」のとおり

3. 目的

障害者虐待に関わる情報を共有し、課題を検討することにより、障害者虐待の防止や早期発見、早期対応につながる関係機関との連携協力体制を構築するため

4. 協議内容

- ①新規虐待通報ケースの情報共有
- ②既存虐待通報ケースの現況報告、対応の検証
- ③虐待ケース対応の課題整理、課題解決のための検討

5. メンバー

	所属	職	氏名
1	富山国際大学子ども育成学部	准教授	室林 孝嗣
2	(福)恵風会相談支援事業所あざみ	相談支援専門員	北滝 めぐみ
3	(福)めひの野園うさか寮	施設長	東 真盛
4	(福)富山市社会福祉協議会地域福祉課	主事	林 直美
5	富山中央警察署生活安全課地域安全係	係長	杉原 博紀
6	石山司法書士事務所	司法書士	石山 彰雄
7	保健所保健予防課	主任	武田 広子
8	障害福祉課	副主幹	本郷 由佳

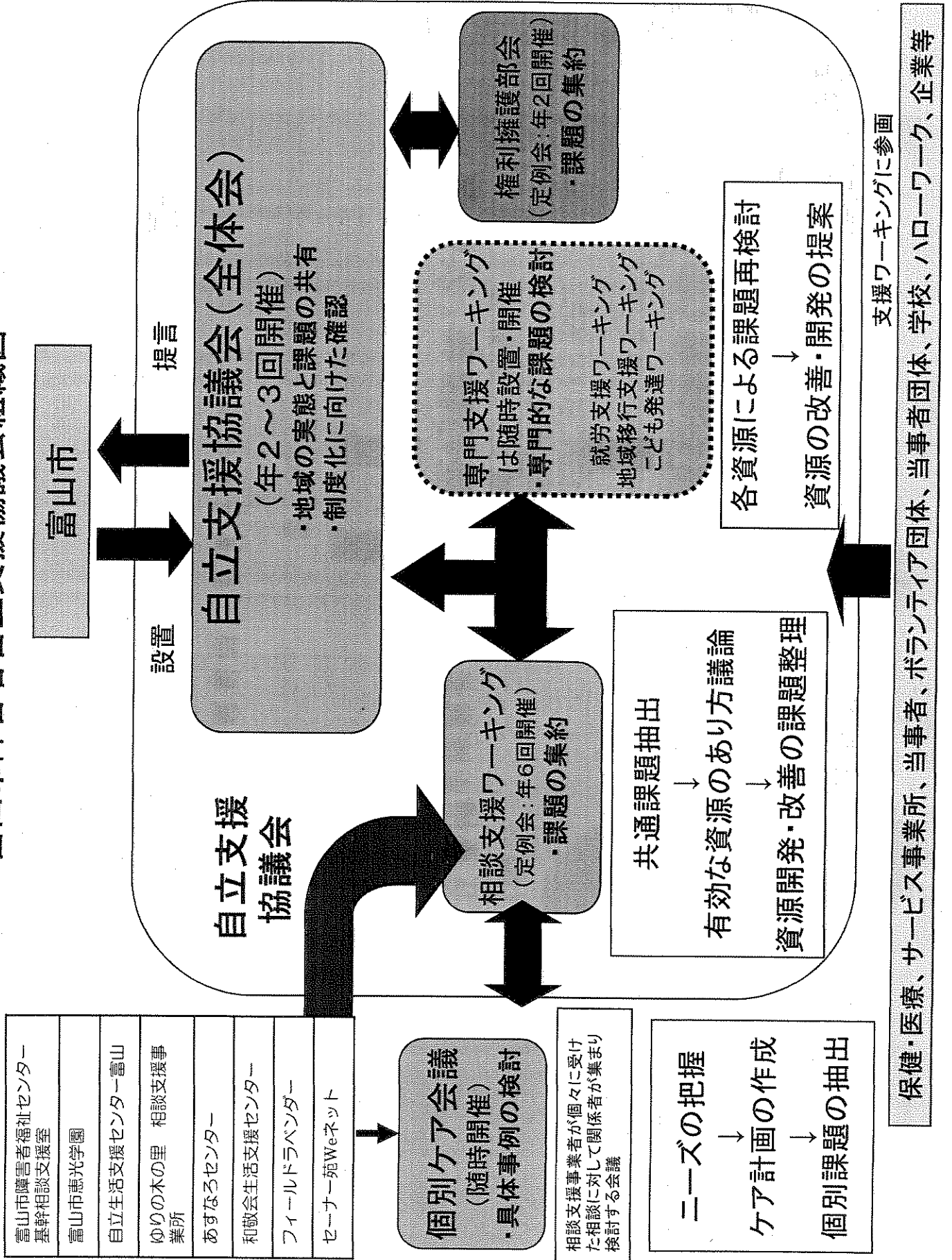
6. 開催時期

- ①定期 年2回（自立支援協議会開催の前）
- ②随時 年1回（必要が生じた場合）

7. 平成25年度予定

- ①第1回 1月22日（水）開催
- ②第2回 3月6日（木）開催予定

富山市障害者自立支援協議会組織図



富山市障害者虐待防止センターにおける通報・相談件数について

1. 年度別件数

年度	H24		H25	
	10月～3月	4月～9月	10月～1月	計
通報	7	3	3	6
相談	18	8	8	16

2. 通報の概要

H25年度

	相談受理年月	通報者	被虐待者の属性			虐待の種類	虐待行為の種類
			障害種別	性別	年齢		
1	H25.6.14	サービス事業者	身体	女性	20～39歳	養護者による虐待	介護・世話の放棄・放任
2	H25.6.19	サービス事業者	精神	男性	40～64歳	養護者による虐待	身体的虐待
3	H25.7.25	サービス事業者	知的	男性	20～39歳	養護者による虐待	身体的虐待
4	H25.10.28	保健福祉センター	知的	男性	20～39歳	養護者による虐待	身体的虐待
5	H25.10.31	サービス事業者	精神	女性	20～39歳	養護者による虐待	身体的虐待
6	H26.1.9	子	精神	女性	40～64歳	養護者による虐待	心理的虐待